

みんなが知らない、

認知症の話。

みんなに知ってほしい、

認知症の話。

3月14日
水曜日

講演会

n i n c h i s h o

東京学院ビル
3階 会場

東京都千代田区三崎町3-6-15

●JR水道橋駅より徒歩1分

講演 1 前頭側頭型認知症の夫と生きぬいた8000日
新井雅江 Arai Masae

講演 2 認知症になった私が言いたいこと・伝えたいこと
佐藤雅彦 Sato Masahiko

講演 3 レビー小体型認知症を知っていますか？
尾崎純郎 Ozaki Junro

主催●●●「認知症をもっと知ってほしい」市民の会

時間●●●14:00～16:30 (受付13:20～)

参加対象●●●介護職・ケアマネジャー・家族介護者・一般・学生 etc、どなたでも可

参加費●●●1,000円 定員●●●120名

いま注目の「レビーしょうたいがた小体型認知症」と
「前頭側頭型認知症ぜんとうそくとうがた」について
理解を深めていただくとともに、
「認知症になった私」からのメッセージに
耳を傾けてください。

新井雅江

認知症の人と家族の会・埼玉県支部世話人。
前頭側頭型（ピック病）の若年認知症の夫を22年にわたって介護。
2011年3月、夫の他界を機に、その壮絶な体験を、
著書『8000日の夜と朝——若年認知症の夫と生きぬいて』にまとめた。

演者
profile

佐藤雅彦

中学校の教員を経て、システムエンジニアとして活躍。
51歳のとき、認知症の診断を受け、退職。
現在は、ホームヘルプサービスを利用しながら生活（弟と同居）。
病気の当事者として、認知症を啓発すべく、講演活動なども行っている。57歳。

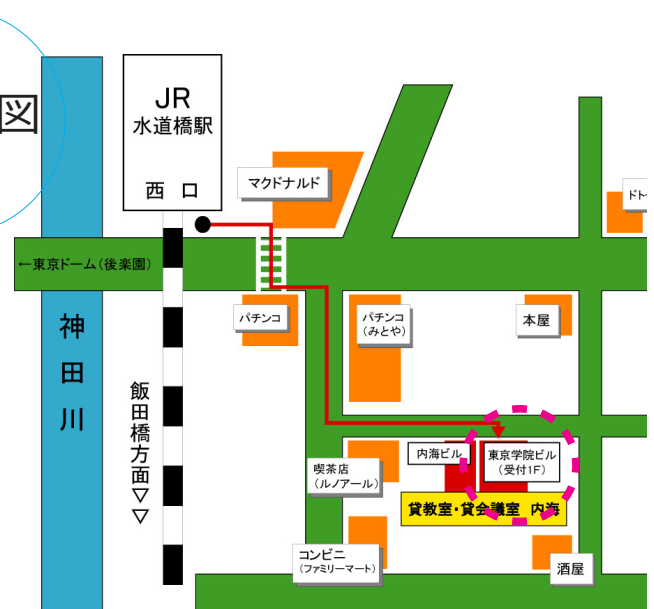
尾崎純郎

レビー小体型認知症家族を支える会顧問。株式会社 harunosora 編集長。
20年にわたって、介護・認知症分野の編集者として活躍。
ここ数年、"第二の認知症"として注目されているレビー小体型認知症の
支援活動・啓発活動に力をそそいでいる。

お申込み

FAX048-259-4676

会場地図



お名前 [ふりがな]

ご職業

ご連絡先電話番号

ご参加人数

名

お申込みは先着順となります。定員（約120名）を超え、やむをえずお断りする場合のみご連絡申し上げます。
参加証などは発行いたしません。参加費（1,000円）は、当日受付にてお支払いくださいませ。

●お問合せ

「認知症をもっと知ってほしい」市民の会 ●TEL048-259-4676 [新井] ●メール ma16pa26e@yacht.ocn.ne.jp